

る。昨年には家造り提案の一環として、ペットと暮らせる家」というテーマを打ち出し、より機能を高めた床材の新製品を投入。この効果もあって、「住宅商品の差別化要化していく。」

この商品に賭ける

大断面材の乾燥を得意とする高周波・蒸気複合乾燥機「デューエル」を提案している山本ビニター（大阪市、山本泰司社長）は高周波による加熱の技術開発で木材加工の一翼を担ってきた。

もともと同社はビニール生地製造・販売業として1953年（昭和28年）に創業した。この本業のビニール生地販売強化のため、ヨーロッパやアメリカ製の高周波ミシンや高周波ウエルダーの販売を開始。それに合わせて自社生産と自社開発も始めた。

高周波加熱技術を進化

難しい国産杉乾燥に一役

住友林業クレスト

シストSシリーズ

シヨン向けそれぞれの製品ラインアップを強化していく。

シストSシリーズは、耐摩耗性や耐汚染材単体ではなく内装全

し、同社の柱となつていくわけだが、現在の対象業種は、▽木材の加熱や接着、乾燥などの加工機▽食品業界▽文具業界▽自動車業界など様々で、その集大成の技術活用としてメディカル事業へも

山本ビニター 高周波・蒸気 複合乾燥機 デューエル

発展している。

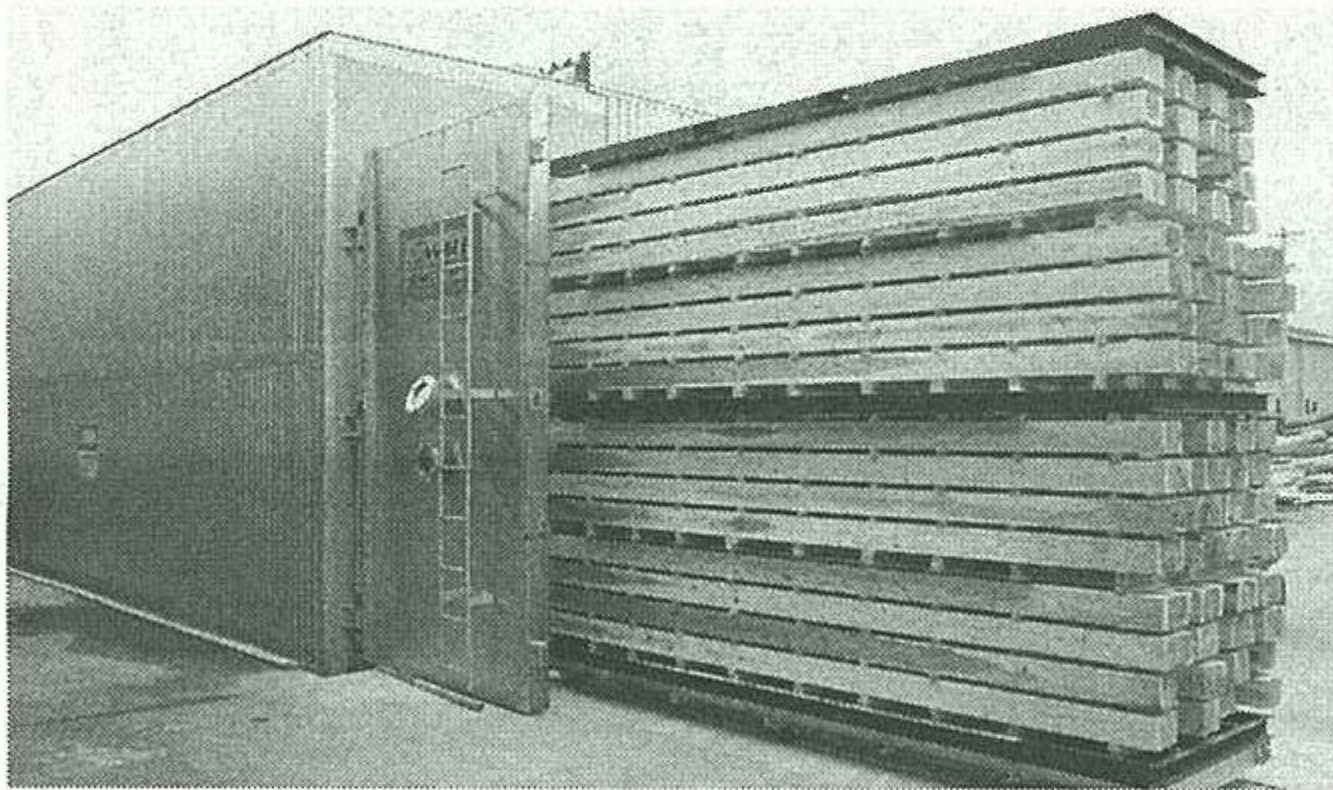
同事業部は、医療品業界向けの治療機などを開発しており、「がん温熱治療装置」や「前立腺肥大症高温治療装置」などを商品として持つ。

がん温熱治療装置は京都大学と共同開発し

ため、表面フィルムメーカーやペット関連業者の協力の下、犬の脚の動きを実際に確認しながら開発を進めた商品であり、傷や汚れに強いという同シリーズの特徴を継承しつつ、滑りにくい機能を加えてペットに最適な性能

今年9月には、シストSシリーズのブラントSシリーズの商品として、壁面収納のフリーラックシステム「フォルスS」とシステム収納のテレビボード及びキャビネットである

国産材の良質乾燥を実現



地域産材の乾燥を短期間で完了させ、また、要望によってスケット（高温周波乾燥を同時に実行など）の確立は当然ながら、最近では大断面の杉材を9日10日程度で乾燥

色、割れ、反り、曲がりの少ない高品質乾燥を可能にしている。そのうえで乾燥スケールも構築している。公共建築物等における木材の利用の促進